

様式第 5 号 (第 13 条関係)

①

炉・厨房設備・温風暖房機・ボイラー  
給湯湯沸設備・乾燥設備・サウナ設備  
ヒートポンプ冷暖房機  
火花を生ずる設備・放電加工機

設置届出書

記入例

② 年 月 日 木曾消防署長 殿 届出者 電話 ( ) 番 ③ 住所 氏名 ④印					
防火対象物	所在地	④			電話 番
	名称	⑤		主要用途	⑥
設置場所	用途	⑦	床面積	⑧ m <sup>2</sup>	消防用設備等又は 特殊消防用設備等 ⑪
	構造	⑨	階層	⑩	
届出設備	設備の種類	⑫			
	着工(予定)年月日	⑬		竣工(予定)年月日	⑭
	設備の概要	⑮			
	使用する燃料・熱源・加工液	種類	使用量		
		⑯	⑰		
安全装置	⑱				
取扱責任者の職氏名		⑲			
工事施工者	住所	⑳ 電話 番			
	氏名	㉑			
※ 受付欄		※ 経過欄			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とすること。
- 2 法人にあっては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
- 3 階層欄には、屋外に設置する設備にあっては、「屋外」と記入すること。
- 4 設備の種類欄には、鉄鋼溶解炉、暖房用熱風炉、業務用厨房設備等と記入すること。
- 5 設備の概要欄に書き込めない事項は、別紙に記載して添付すること。
- 6 火花を生ずる設備及び放電加工機以外の設備にあっては、使用量欄には 1 時間当たりの入力を記入すること。この際、電気を熱源とする設備にあっては、1 キロワットを 860 キロカロリーに換算すること。
- 7 ※印の欄は、記入しないこと。
- 8 当該設備の設計図書を添付すること。

[炉・厨房設備・温風暖房機・ボイラー給湯湯沸設備・乾燥設備・サウナ設備ヒートポンプ冷暖房機  
火花を生ずる設備・放電加工機設置届出書]

項目	記入要領
①届出区分	届出に係る区分を○で囲みます。
②届出日	届出書を消防署へ提出する年月日を記入します。
③届出者	1 事業所の管理について権原を有する者の住所、氏名を記入します。 法人の場合は、法人の住所、名称及び代表者の職・氏名を記入します。 2 個人事業主の場合は、住所登録をしている住所を記入します。 3 事業所の電話番号を記入します。
④防火対象物所在地	建物の所在地を記入します。
⑤防火対象物名称	建物の名称を記入します。
⑥主要用途	政令別表第1を参考にして、使用する建物の主な用途を記入します。 (例:「旅館」、「飲食店」、「工場」、「店舗兼住宅」等)
⑦用途	設備等を設置又は、設置しようとする場所の用途を記入します。 (例:「機械室」、「ボイラー室」等)
⑧床面積	設置する場所の床面積を記入します。
⑨構造	設置する場所の構造を記入します。 (例:「木造」、「鉄骨造」等)
⑩階層	設置する場所の階を記入します。 (例:「地下1階」、「1階」等)
⑪消防用設備等	建物に設置されている消防用設備等を記入します。 (例:「消火器」、「誘導灯」、「自動火災報知設備」等)
⑫設備の種類	届出設備の種類を記入します。
⑬着工(予定)年月日	着工(予定)年月日を記入します。
⑭竣工(予定)年月日	竣工(予定)年月日を記入します。
⑮設備の概要	届出設備の概要を記入します。(※1)
⑯種類	使用する燃料・熱源・加工液の種類を記入します。(※2)
⑰使用量	使用する燃料・熱源・加工液の使用量を記入します。(※3)
⑱安全装置	設置されている又、設置しようとする安全装置を記入します。(※4)
⑲取扱責任者の職・氏名	取扱責任者の職・氏名を記入します。
⑳工事施工者住所及び電話番号	工事施工者の住所・電話番号を記入します。
㉑工事施工者氏名	工事施工者の氏名を記入します。

注 (※1)～(※4)については、設置する設備の仕様書等を添付する場合においては、記入する必要はありません。